



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月25日

上場会社名 未来工業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7931 URL <https://www.mirai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 雅裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中島 靖 TEL 0584-68-1200
 四半期報告書提出予定日 2019年10月31日 配当支払開始予定日 2019年11月27日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年3月21日～2019年9月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	18,813	7.2	1,954	10.6	2,030	12.4	1,337	△43.2
2019年3月期第2四半期	17,544	0.8	1,767	△11.4	1,806	△14.3	2,353	65.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,274百万円 (△63.6%) 2019年3月期第2四半期 3,499百万円 (136.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	71.67	—
2019年3月期第2四半期	101.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	55,352	42,472	76.2
2019年3月期	67,253	54,546	80.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 42,154百万円 2019年3月期 54,252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	16.00	—	24.00	40.00
2020年3月期	—	20.00			
2020年3月期（予想）			—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年3月21日～2020年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,304	0.7	3,323	△14.9	3,251	△17.0	2,435	△40.8	135.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	25,607,086株	2019年3月期	25,607,086株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	8,439,863株	2019年3月期	2,442,821株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	18,666,172株	2019年3月期2Q	23,160,372株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
2020年3月期 第2四半期決算短信資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用情勢の改善は続いているものの一部では企業収益に足踏み傾向が見られました。また、個人消費は底堅く推移しているものの消費マインドは弱い状況が続いており、先行きについては不透明な状況で推移しております。

当社グループの事業関連である住宅建築業界では、政府による住宅取得支援策や低水準の住宅ローン金利等が継続しており、持家の着工戸数は増加しているものの貸家やマンション等の着工戸数の落ち込みにより減少傾向で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは継続的な新製品の市場投入に加え、活発な営業活動を展開した結果、売上高は過去最高の188億13百万円と前年同四半期に比べ12億68百万円(7.2%)の増収となりました。利益につきましては、外注加工費の増加等があったものの増収効果等により、営業利益は19億54百万円と前年同四半期に比べ1億87百万円(10.6%)の増益、経常利益は20億30百万円と前年同四半期に比べ2億24百万円(12.4%)の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、13億37百万円と共同ビル(東京都中央区)等の固定資産売却益17億47百万円を特別利益に計上した前年同四半期に比べ10億15百万円(43.2%)の減益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

(電材及び管材)

電材及び管材につきましては、建築工事現場において技能労働者の不足が叫ばれるなか、作業の省力化を目指した製品づくりとともに、さまざまな現場に適した多種多様な製品展開を進めることにより、業界の支持を得ております。

電材では、公立小中学校への空調設備工事の特需等もあった硬質ビニル電線管「J管」やその附属品等が増加しました。また、施工性に優れた合成樹脂製可とう電線管「ミラフレキシSS」やその附属品が堅調に推移したことにより、電線管類及び附属品が増加しました。管材では、排水時のスムーズな通気が可能な通気弁「通気スイスイ」が増加しました。その結果、売上高が141億41百万円と前年同四半期に比べ7億7百万円(5.3%)の増収となりました。営業利益は外注加工費の増加等があったものの増収効果等により、15億89百万円と前年同四半期に比べ44百万円(2.9%)の増益となりました。

(配線器具)

配線器具につきましては、意匠性の高い配線器具「NK SERIE」の増加に加え、電材ルートへの活発な営業活動により「J・WIDE」等の配線器具が堅調に増加した結果、売上高が30億40百万円と前年同四半期に比べ1億35百万円(4.7%)の増収となりました。営業利益は増収効果等により2億95百万円と前年同四半期に比べ41百万円(16.3%)の増益となりました。

(省力化機械及び樹脂成形用金型)

省力化機械及び樹脂成形用金型につきましては、自動車関連向けの樹脂成形用機械が堅調に増加した結果、売上高が8億60百万円と前年同四半期に比べ3億4百万円(54.6%)の増収となりました。営業利益は増収効果等により2億40百万円と前年同四半期に比べ82百万円(51.6%)の増益となりました。

(その他)

その他につきましては、「データセンター」が堅調に推移した結果、売上高が7億71百万円と前年同四半期に比べ1億22百万円(18.8%)の増収となりました。営業利益は1億45百万円と前年同四半期に比べ19百万円(15.7%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて119億1百万円減少し、553億52百万円となりました。その主な要因は、自己株式の取得に伴い現金及び預金が105億81百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて1億72百万円増加し、128億79百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が3億63百万円減少、短期借入金及び長期借入金が1億65百万円増加、課税所得の増加に伴い未払法人税等が93百万円増加、株式付与引当金が58百万円増加、流動負債のその他が1億78百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて120億73百万円減少し、424億72百万円となりました。その主な要因は、自己株式取得に伴い自己株式が127億69百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ111億80百万円減少し、135億75百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は23億39百万円と前年同四半期に比べ6億54百万円の増加となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が20億30百万円と前年同四半期に比べ15億23百万円減少したものの、固定資産売却益が18百万円と前年同四半期に比べ17億29百万円の減少、営業活動によるキャッシュ・フローのその他が前年同四半期は3億64百万円の減少であったものが、当四半期は1億96百万円の増加となり、その差額5億60百万円得られた資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4億3百万円と前年同四半期に比べ3億29百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入が25百万円と前年同四半期に比べ29億23百万円減少したものの、定期預金の預入による支出が2億14百万円と前年同四半期に比べ21億9百万円減少、投資有価証券の売却による収入が6億58百万円と前年同四半期に比べ6億57百万円増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は131億16百万円と前年同四半期に比べ128億17百万円の増加となりました。これは主に、自己株式の取得による支出が127億74百万円と前年同四半期に比べ127億73百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月26日に公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,580	14,998
受取手形及び売掛金	10,671	10,873
有価証券	997	499
商品及び製品	3,792	3,588
原材料及び貯蔵品	1,179	1,182
その他	849	848
貸倒引当金	△19	△18
流動資産合計	43,051	31,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,102	6,021
機械装置及び運搬具(純額)	2,763	2,705
土地	5,426	5,415
建設仮勘定	418	555
その他(純額)	587	613
有形固定資産合計	15,297	15,311
無形固定資産	506	460
投資その他の資産		
投資有価証券	1,771	1,072
繰延税金資産	1,414	1,404
退職給付に係る資産	542	587
長期預金	4,000	4,000
その他	845	719
貸倒引当金	△176	△176
投資その他の資産合計	8,397	7,607
固定資産合計	24,201	23,378
資産合計	67,253	55,352
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,460	6,097
短期借入金	79	126
1年内返済予定の長期借入金	300	368
未払法人税等	600	693
その他	3,012	3,190
流動負債合計	10,453	10,475
固定負債		
長期借入金	365	416
再評価に係る繰延税金負債	111	110
株式付与引当金	722	780
役員退職慰労引当金	100	90
退職給付に係る負債	631	642
その他	321	362
固定負債合計	2,253	2,403
負債合計	12,706	12,879

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,067	7,067
資本剰余金	9,538	9,538
利益剰余金	41,023	41,785
自己株式	△3,184	△15,954
株主資本合計	54,445	42,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	205	129
土地再評価差額金	△482	△485
退職給付に係る調整累計額	84	72
その他の包括利益累計額合計	△193	△282
非支配株主持分	294	318
純資産合計	54,546	42,472
負債純資産合計	67,253	55,352

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年9月20日)
売上高	17,544	18,813
売上原価	10,862	11,708
売上総利益	6,682	7,105
販売費及び一般管理費		
運賃	1,108	1,185
貸倒引当金繰入額	△7	0
役員報酬	107	132
給料及び手当	1,755	1,791
退職給付費用	60	65
株式付与引当金繰入額	29	30
役員退職慰労引当金繰入額	6	7
その他	1,853	1,936
販売費及び一般管理費合計	4,914	5,150
営業利益	1,767	1,954
営業外収益		
受取利息	3	7
受取配当金	16	16
保険事務手数料	3	3
投資有価証券売却益	—	70
作業くず売却益	8	7
その他	131	72
営業外収益合計	163	178
営業外費用		
支払利息	4	3
売上割引	87	88
その他	32	9
営業外費用合計	124	102
経常利益	1,806	2,030
特別利益		
固定資産売却益	1,747	—
補助金収入	449	—
特別利益合計	2,196	—
特別損失		
固定資産圧縮損	449	—
特別損失合計	449	—
税金等調整前四半期純利益	3,553	2,030
法人税、住民税及び事業税	608	621
法人税等調整額	567	48
法人税等合計	1,175	669
四半期純利益	2,378	1,361
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,353	1,337

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年9月20日)
四半期純利益	2,378	1,361
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71	△76
土地再評価差額金	1,200	—
退職給付に係る調整額	△7	△11
その他の包括利益合計	1,121	△87
四半期包括利益	3,499	1,274
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,475	1,250
非支配株主に係る四半期包括利益	24	23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,553	2,030
減価償却費	920	1,001
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	△1
株式付与引当金の増減額 (△は減少)	56	58
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△18	△10
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6	5
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△45	△54
受取利息及び受取配当金	△20	△24
支払利息	4	3
補助金収入	△449	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△70
固定資産売却損益 (△は益)	△1,747	△18
固定資産圧縮損	449	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△41	△201
たな卸資産の増減額 (△は増加)	202	200
仕入債務の増減額 (△は減少)	△87	△363
その他	△364	196
小計	2,410	2,751
利息及び配当金の受取額	23	24
利息の支払額	△4	△3
法人税等の支払額	△835	△533
補助金の受取額	89	100
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,684	2,339
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,324	△214
定期預金の払戻による収入	172	116
投資有価証券の売却による収入	0	658
有形固定資産の取得による支出	△852	△965
有形固定資産の売却による収入	2,949	25
その他	△19	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74	△403
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4	46
長期借入れによる収入	340	370
長期借入金の返済による支出	△286	△251
社債の発行による収入	58	97
社債の償還による支出	△25	△29
自己株式の取得による支出	△0	△12,774
配当金の支払額	△384	△576
その他	2	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△299	△13,116
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,311	△11,180
現金及び現金同等物の期首残高	22,863	24,756
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,175	13,575

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式6,000,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期累計期間において自己株式が127億69百万円増加し、当第2四半期会計期間末において自己株式が159億54百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年3月21日 至 2018年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	省力化機械 及び樹脂成 形用金型	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,433	2,904	556	16,894	649	17,544
セグメント間の内部 売上高又は振替高	119	—	392	511	1,596	2,108
計	13,553	2,904	948	17,406	2,246	19,653
セグメント利益	1,545	254	158	1,958	125	2,084

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気通信事業、ケーブルテレビ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,958
「その他」の区分の利益	125
セグメント間取引消去	5
全社費用(注)	△291
棚卸資産の調整額	△1
有形固定資産の調整額	△30
無形固定資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,767

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年3月21日至2019年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	省力化機械 及び樹脂成 形用金型	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,141	3,040	860	18,041	771	18,813
セグメント間の内部 売上高又は振替高	117	—	297	415	1,723	2,138
計	14,259	3,040	1,157	18,457	2,494	20,952
セグメント利益	1,589	295	240	2,126	145	2,272

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気通信事業、ケーブルテレビ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,126
「その他」の区分の利益	145
セグメント間取引消去	6
全社費用(注)	△323
棚卸資産の調整額	1
有形固定資産の調整額	△2
無形固定資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,954

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「その他」に含まれていた「省力化機械及び樹脂成形用金型」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 補足情報

2020年3月期 第2四半期決算短信資料

1. 業績と今期予想 (連結)

科目	2018年3月期		2019年3月期		2019年3月期 第2四半期		2020年3月期 第2四半期		2020年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	百万円 35,175	% 4.6	百万円 36,035	% 2.4	百万円 17,544	% 0.8	百万円 18,813	% 7.2	百万円 36,304	% 0.7
営業利益	4,198	△0.1	3,904	△7.0	1,767	△11.4	1,954	10.6	3,323	△14.9
経常利益	4,253	3.3	3,916	△7.9	1,806	△14.3	2,030	12.4	3,251	△17.0
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	2,929	26.9	4,114	40.5	2,353	65.6	1,337	△43.2	2,435	△40.8
1株当たり当期(四半期)純利益	126.49円		177.63円		101.62円		71.67円		135.91円	

3期連続の増収、営業利益及び経常利益は2期ぶりの増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は4期ぶりの減益であります。

2. セグメント別の実績と予想 (連結)

売上高

セグメント	2018年3月期		2019年3月期		2019年3月期 第2四半期		2020年3月期 第2四半期		2020年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
電材及び管材	百万円 27,043	% 3.2	百万円 27,412	% 1.4	百万円 13,433	% 0.1	百万円 14,141	% 5.3	百万円 27,576	% 0.6
配線器具	5,601	4.0	5,998	7.1	2,904	7.3	3,040	4.7	6,063	1.1
省力化機械及び樹脂成形用金型	1,121	29.4	1,148	2.4	556	△3.6	860	54.6	1,050	△8.6
その他	1,408	19.8	1,475	4.7	649	△7.3	771	18.8	1,614	9.5
売上高	35,175	4.6	36,035	2.4	17,544	0.8	18,813	7.2	36,304	0.7

営業利益

セグメント	2018年3月期		2019年3月期		2019年3月期 第2四半期		2020年3月期 第2四半期		2020年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
電材及び管材	百万円 3,830	% △10.4	百万円 3,337	% △12.9	百万円 1,545	% △15.1	百万円 1,589	% 2.9	百万円 3,208	% △3.9
配線器具	560	31.9	622	11.1	254	△2.4	295	16.3	356	△42.7
省力化機械及び樹脂成形用金型	219	176.9	312	42.2	158	4.5	240	51.6	136	△56.3
その他	210	24.9	311	47.6	125	9.7	145	15.7	271	△12.7
調整額	△622	△16.6	△679	9.0	△317	△10.1	△317	0.2	△650	△4.3
営業利益	4,198	△0.1	3,904	△7.0	1,767	△11.4	1,954	10.6	3,323	△14.9

減価償却費

セグメント	2018年3月期		2019年3月期		2019年3月期 第2四半期		2020年3月期 第2四半期		2020年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
電材及び管材	百万円 1,690	% 36.2	百万円 1,651	% △2.3	百万円 737	% △5.9	百万円 815	% 10.6	百万円 1,856	% 12.4
配線器具	206	△9.0	240	16.5	99	8.9	113	14.5	343	42.5
省力化機械及び樹脂成形用金型	37	60.8	34	△7.2	16	△6.6	16	△4.1	35	2.4
その他	286	1.3	257	△9.9	122	△12.7	122	0.6	261	1.4
調整額	△100	134.9	△117	17.7	△50	1.7	△66	30.2	△120	1.8
減価償却費	2,119	22.5	2,066	△2.5	924	△5.9	1,001	8.4	2,376	15.0

設備投資額

期別 セグメント	2018年3月期		2019年3月期		2019年3月期 第2四半期		2020年3月期 第2四半期		2020年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
電材及び管材	1,208	△75.3	1,525	26.2	666	△1.7	751	12.8	2,273	49.1
配線器具	259	33.5	254	△1.9	83	6.3	228	174.9	652	156.1
省力化機械及び 樹脂成形用金型	40	△60.6	65	60.3	1	223.9	12	735.0	35	△46.3
その他	99	△66.4	211	113.1	108	164.3	78	△27.7	193	△8.5
調整額	△27	△124.8	△126	362.8	△103	△4.9	△117	13.6	△130	2.4
設備投資	1,581	△71.8	1,929	22.1	756	9.8	954	26.2	3,024	56.7

以上